

日本華僑華人学会・2011年度年次大会 大会次第

2011 年度大会実行委員会

日時・会場

実施日：2011 年 11 月 12・13 日

会場：南山大学・名古屋キャンパス

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

交通アクセスは：<http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html> をご参照ください

最寄駅：地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口より徒歩約8分

地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分

※大会についての問い合わせは、南山大学ではなく、大会事務局までお願いします。

プログラム

12 日		会場
11:00	受付開始	R 棟 5 階
11:30-13:15	理事会	R 棟 5 階 51 教室
13: 30-16:00	分科会 1 テーマ 「多文化教育と華僑華人」 代表：楊立明（早稲田大学国際教養学部） 報告： 裘曉蘭（上海社会科学院） 「多文化教育と華僑・華人 —華僑学校の教育変容を中心に—」 周飛帆（千葉大学言語教育センター） 「家庭における教育戦略とその形成過程 —滞日中国人ニューカマーを中心に—」 杉村美紀（上智大学総合人間科学部） 『『国際移動時代の多文化教育』をめぐる国家と華人の教育戦略 —マレーシアの事例—』 山本須美子（東洋大学社会学部） 「EUの学校における中国系新移民受け入れの現状 —フランス・パリの事例を中心として—」	R 棟 5 階 53 教室
16:30-17:30	総会	R 棟 5 階 49 教室
18:00-20:00	懇親会	教職員食堂 (第 2 食堂)
書籍販売		R 棟 5 階 52 教室

13日		会場
9:30-11:50	<p>研究発表</p> <p>司会：小林幹夫(愛知学泉大学コミュニティ政策学部)</p> <p>9:30-10:00 持田洋平 (慶應義塾大学大学院文学研究科 後期博士課程) 「シンガポール華人社会の近代の始まりに関する一考察 - 林文慶と辮髪切除活動を中心に -」</p> <p>10:00-10:30 山本信人 (慶應義塾大学法学部) 「戦間期東南アジアにおける『中国問題』」</p> <p>10:30-10:40 休憩</p> <p>10:40-11:20 甘利弘樹 (大分大学教育福祉科学部) 「大学における華僑・華人・チャイナタウンの授業実践—工夫と課題—」</p> <p>11:20-11:50 藤村是清 (放送大学) 「『華僑ポート』統計 (1855-1940) に基づく移民趨勢の考察」</p>	R 棟 5 階 53 教室
13:00-15:30	<p>分科会 2 テーマ 「ポスト・スハルト期のインドネシア華人をめぐって」</p> <p>代表： 貞好康志 (神戸大学大学院国際文化学研究科)</p> <p>報告： 相沢伸広 (アジア経済研究所) 「ユドヨノ政権下における華人・中国問題—スハルト政権時代との比較」</p> <p>北村由美 (京都大学東南アジア研究センター) 「ポスト・スハルト期インドネシアの華人出版物にみられる自己イメージ」</p> <p>津田浩司 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所) 「『華人の伝統宗教』の現在—寺廟における教義・儀礼の体系化をめぐって」</p> <p>コメント：市川 哲(立教大学観光学部) 宮原暁(大阪大学グローバルコラボレーションセンター)</p>	R 棟 5 階 53 教室
書籍販売		R 棟 5 階 52 教室

3.) 参加申し込み及び参加費

- ・年次大会・懇親会の出欠は、本サーキュラーに添付の申込書をご確認のうえ、10月31日までにお知らせください (送付先は申込書にございます)。
- ・参加費は当日会場でお支払ください。お釣りのないようご準備お願い申し上げます。

研究大会参加費 学会員 2,500 円 非会員 3,000 円
 懇親会費 一般会員 5,000 円 学生会員 3,000 円